

.Debian

銀河系唯一のDebian専門誌

2019年8月17日

DebianConf19ビデオ特集

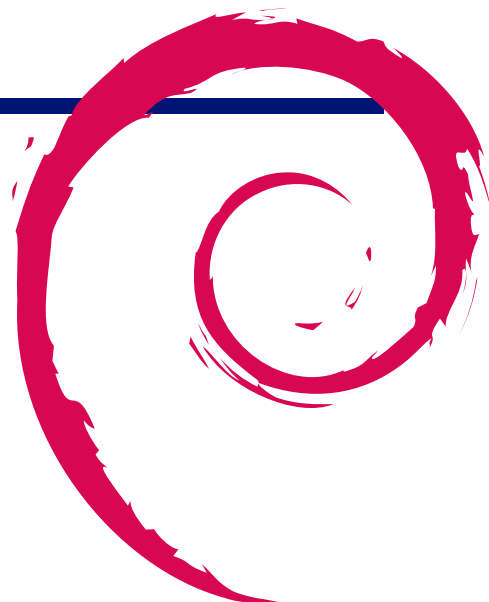


Debian 勉強会

目次	
1	最近の Debian 関連のミーティング報告 2
1.1	2019 年 6 月度 東京エリア Debian 勉強会 2
1.2	Debian10 "Buster" セタリリースパーティ in Tokyo 2
2	事前課題 3
2.1	yy-y-ja.jp 3
2.2	dictoss 3
2.3	Kouhei Maeda (mkouhei) 3
2.4	dancerj 3
2.5	koedoyoshida 3
3	DebConf19 の気になるセミナーを調べてみる 4
3.1	はじめに 4
3.2	DebConf19 のセミナービデオ 4
3.3	ビデオを見てみたセミナー 4
3.4	おわりに 7

1 最近の Debian 関連のミーティング報告

杉本 典充



1.1 2019 年 6 月度 東京エリア Debian 勉強会

2019 年 6 月 15 日 (土) に東京エリア Debian 勉強会を開催しました。会場は六本木にあるサイバートラストさんをお借りして行いました。参加者は 6 名でした。

セミナー発表は、dictoss さんの「OSC 2019 Hokkaido のイベント参加報告と今後の課題整理」でした。OSC 2019 Hokkaido に参加したイベント報告と今後の勉強会及びイベント運営をどのように進めていくとよいかを参加者で議論しました。

議論の議事録は以下 URL で公開しています。

https://tokyodebian-team.pages.debian.net/2019-06_tokyodebian_thinking-meeting_bof.txt

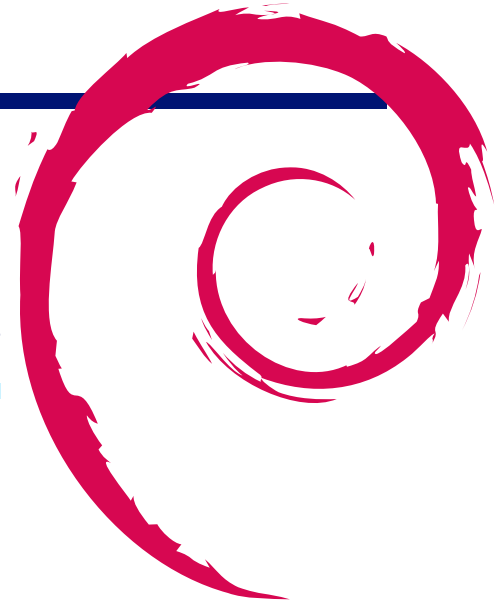
1.2 Debian10 "Buster" セタリリースパーティ in Tokyo

2019 年 7 月 7 日 (日) に Buster のリリースを記念して「Debian10 "Buster" セタリリースパーティ in Tokyo」を開催しました。会場は南麻布にあるサイオスさんをお借りして行いました。参加者は 12 名でした。

参加者一同でビザやお酒、ケーキを食事しつつ懇親し、Debian 10 Buster のリリースをお祝いしました。

2 事前課題

dictoss



今回の事前課題は以下です。

1. Hack Time は何をしますか (How will you work on Hack Time ?)
2. DebConf19 において、興味があるセミナーを教えてください (Please tell me the seminar you are interested in at DebConf19.)

2.1 yy_y-ja-[jp](#)

1. (回答なし)
2. (回答なし)

2.2 dictoss

1. Debian 10 Buster のリリースノートを読む
2. i'm (a bit) sick of maintaining piuparts.debian.org (mostly) alone, please help

2.3 Kouhei Maeda ([mkouhei](#))

1. (回答なし)

2. APT 2.0 and other news / Software transparency: improving package manager security

2.4 [dancerj](#)

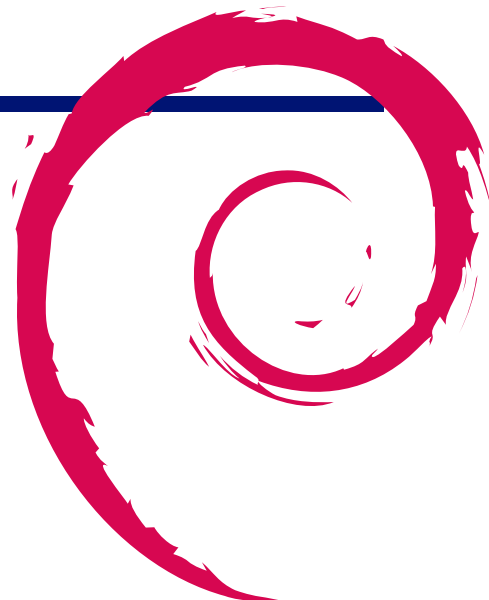
1. (回答なし)
2. (回答なし)

2.5 [koedoyoshida](#)

1. (回答なし)
2. (回答なし)

3 DebConf19 の気になるセミナーを調べてみる

dictoss



3.1 はじめに

DebConf19 が 2019 年 7 月 21 日から 28 日にブラジルのクリチバ市で開催されました。

<https://debconf19.debconf.org/>

多くのセミナー発表があり、現在の Debian Project のトレンドをつかむことができます。このセミナーはビデオ公開しているセミナーも多いため、ビデオを見てみてどんな内容だったのか調べてみました。

3.2 DebConf19 のセミナービデオ

3.2.1 セミナースケジュールとビデオの場所

DebConf19 のセミナースケジュールは以下の URL で公開しています。

<https://debconf19.debconf.org/schedule/>

この URL のページ内にある各セミナーのタイトルをクリックするセミナーの概要のページが表示され、セミナーによってはスライドとビデオが見れるようになっています。

3.2.2 気になるセミナー

私が個人的に気になるセミナーは以下です。

- i'm (a bit) sick of maintaining piuparts.debian.org (mostly) alone, please help (20min)
- APT 2.0 and other news (20min)
- Using Debian Containers for Cross-Development (45min)
- Debian LTS, the good, the bad and the better (45min)
- Who's afraid of Spectre and Meltdown? (45min)
- Escaping the Surveillance Blackhole with Free Mobile Computing (45min)
- Bootstrappable Debian BoF (45min)
- debian/copyright BoF (45 min)
- Bits from the DPL (45min)

3.3 ビデオを見てみたセミナー

3.3.1 APT 2.0 and other news

- Ubuntu 14.04 の ESM が始まった

- public dist/、 private pool/ が要件。認証処理が必要
- ”never” pin という仕組みを考えた
- 2018 年に frontend lock を導入
 - 主に python-apt が抱える不具合を修正
 - Ubuntu error トラッカーの情報では unattended-upgrades による crash の報告が減った
- アップデート中にシャットダウンした場合の問題への対応
 - apt 1.8.1 以降では、systemd へ shutdown しないように制御できるようになった
 - systemctl や GUI ツールの実行中は shutdown しないように防ぐことができる
 - sudo reboot や似たようなコマンドはまだ対応していない
- buster へ dist-upgrade するときにエラーが出たのは申し訳なかった
 - エラー内容
 - * E: Repository 'foo' changed its 'Suite' value from 'testing' to 'stable'
 - * E: Repository 'bar' changed its 'Codename' value from 'buster' to 'bullseye'
 - 何がやりたかったのか
 - * Security: Prevent people from giving you stable when you ask for stable-security
 - * Pinning: Prevent broken pinning situations
 - どうすればよかったのかの案を考えてみたので、みなさんと議論してみたいです
- dpkg の news
 - Trigger loops might finally be over
 - Rootless ビルドできるようになった
 - start-stop-daemon は新しい systemd の readiness protocol に対応
 - CPAN に Dpkg perl モジュールが入りました
 - クロスコンパイルサポートの改善
- APT 2.0
 - できるかどうかわからないこと
 - * “purge”、”installed”、”config-files”などでパターンマッチング指定を採り入れたい
 - * pinning もパターンマッチング指定を採り入れたい
 - * Pin and upgrade by source package ?
 - Mandatory InRelease
 - * ”InRelease”ファイルを見るようにする(“Release”や”Release.gpg”ファイルはもう参照しない)
 - * まだ決まっていないこと
 - ・署名なしリポジトリにも対応するよう配慮すべきか？
 - ・gpg 署名ありリポジトリから gpg 署名なしリポジトリへフォールバックしたときにアクシデントが起きたりしないか？

3.3.2 [i'm \(a bit\) sick of maintaining piuparts.debian.org \(mostly\) alone, please help](#)

- 2009 年から piuparts.debian.org をメンテナンスしている Holger Levsen さんの発表
- piuparts の説明
 - パッケージのインストール、アップグレード、削除のテストスイートである
 - 現在 59 スイートとそのスイートの組み合わせのテストを実行している
 - piuparts のメンテナンスは実質 2 名でやっている
 - 悲しいことにバグ対応は Andreas Backmann さんがすべてやっている
 - コードのほとんどは、Andreas Backmann さんが書いた
 - Herbert Fortes さんの help には希望が持てる

- bullseye にはまだ対応していない
- buster では stable2sid が壊れているとバグ報告がある
- src:piuparts について
 - 99.9% の処理は /usr/sbin/piuparts と piupartslib の 5 ファイルが占めている
 - しかし src:piuparts パッケージはファイル数が 358 と多い
 - テストは 5 件しかない
- 複数のアーキテクチャへの対応
 - 現在は amd64 のみ稼働中
 - 複数のアーキテクチャに対応するコードを piuparts-master に入っている
 - サーバリソースを欲しいと RT ticket に書いて DSA に依頼するもサーバをもらえていない
 - モチベーションが下がっている
- buster の状況
 - piuparts-1.0.0 が入っている
 - 1.0.1 の開発はうまくいかなかった
 - 多くの piuparts ユーザには関係ない修正だった
 - モチベーションは依然下がったままである
- コントリビュートできること
 - 21 個のバグが残っている
 - python2、asciidoc の環境を新しくするべく Herbert Fortes さんが作業中
 - テスト結果をよりよくまとめる
 - web 画面のデザイン再考 (スイートは 59 あるが、1 つのスイートしか表示できない)

3.3.3 Using Debian Containers for Cross-Development

- 組み込みデバイス向けのアプリケーション開発をするためのクロス開発環境の話
- 実演しながら説明するスタイル
- クロス開発環境がなぜ必要なのかの実演
 - arm-linux-gnueabi-hf-gcc でクロスコンパイルすれば ARMv7 なバイナリが作れる
 - ARMv7 ボードで GPIO の LED をチカチカさせるプログラムを例にクロスコンパイルしてみる
 - apt-get install package:armhf とアーキテクチャを指定してライブラリをインストールしコンパイル
 - ただ、ボード PC にそのままバイナリをコピーしてもライブラリが足りず動かない。ライブラリの依存関係解決は大変で「Dependency hell」の状態になる
- 異なる CPU アーキテクチャ向けのクロス開発するにはいくつか方法があることの説明
 - yocto project
 - chroot
 - docker 今回はこのやり方をデモ
- amd64 の PC 上で "arm32v7/debian:buster-slim" な docker image を作成し docker push
- ボード PC 上で docker pull し、docker run するデモを実施
- 質問では、ボード PC 側では disk や RAM をたくさん使うと思うがどれくらい使うのかというリソースの観点で質問があった

3.4 おわりに

DebConf19 のビデオを見て勉強してみました。セミナーのビデオはまだまだあるので、時間を見つけて見てみようと思います。



Debian 勉強会資料

2019年8月17日 初版第1刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
